【症例報告】

ハトムギ全粒熱水抽出エキス (CRD) 摂取
により根治した足底疣贅例Two Cases of Plantar Wart Successfully Cured
by Intake of Coix-seed Reactive Derivatives (CRD)鈴木信孝^{1,*}, 許 鳳浩^{1,2}, 上馬場和夫², 橋本慎太郎³
Nobutaka SUZUKI^{1,*}, Hoko KYO^{1,2},
Kazuo UEBABA², Shintaro HASHIMOTO³¹ 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 臨床研究開発補完代替医療学講座² 医療法人ホスピー・浦田クリニック³ 大名町スキンクリニック

【要 旨】

ハトムギの外殻・薄皮・渋皮を含む全粒熱水抽出エキス (CRD) の機能性を探求するために、CRD 摂取が有用であった足底疣贅の2症例を報告した。今後も、さらなる症例の集積を試みる予定である。

【キーワード】

ハトムギ, Coix-seed Reactive Derivatives (CRD), 足底疣贅, 症例報告

はじめに

我々は、ハトムギの外殻・薄皮・渋皮の食効に着目し、酵素処理を組み合わせたハトムギ全粒熱水抽出物 (CRD:Coix-seed Reactive Derivatives) を研究開発した (日本国特許 第3590042号)。CRD の安全性や機能性についてはこれまでいくつか報告してきた¹⁻¹⁰⁾。以前、CRD 摂取が奏功した難治性足底疣贅の一例を初めて報告したが¹¹⁾、今回新たに足底疣贅に有効だった2例を経験したので追加報告する。2症例とも1包中ハトムギCRDエキス2.2gを含有する栄養補助食品 (エリティス: 大木産業株式会社) を自由摂取した例である。なお、本報告の写真はすべて本人もしくは家族が撮影したものであり、本誌掲載にあたっては本人または保護者から同意を得た。また、いずれの例にも副作用は認めなかった。

Case 1 8歳 小学生 女性 病名 足底疣贅

既往歴に特記すべきことなし。1年前から右足底部に疣贅を認め、徐々に大きくなったものの、とくに皮膚科の治療は受けていなかった (Fig.1-a)。エリティスを1包/日摂取開始6週間後、疣贅の周りは柔軟になってきた (Fig.1-b)。摂取8週間目には、疣贅の中心部が黒色に変化し (Fig.1-c)、10週目に疣贅は自然脱落し (Fig.1-d)、まもなく治癒したので、エリティスは計3ヶ月間摂取ののち中止した。Fig.1-eは、摂取終了後3ヶ月目の足底部写真である。なお、現在、摂取終了後、1年経過したが疣贅の再発はない。

Case 2 26歳 女性 病名 足底疣贅

既往歴に特記すべきことなし。6ヶ月前より左足底部に疣贅が出現し、そのまま経過を観察していた (Fig.2-a)。エリティスを2包/日摂取開始し、1ヶ月後の時点では疣贅の大きさはほとんど変化しなかった (Fig.2-b)。しかし、摂取2ヶ月後からは著明に退縮し (Fig.2-c) (Fig.2-d)、摂取4ヶ月後に消失した (Fig.2-e)。その後、再発は認めていない。

考 察

足底疣贅は他の部位と異なり、治療に苦慮することがある。ふつう疣贅の治療としては、液体窒素による凍結療法が主流であるが、強い痛みを伴うことが問題である。また、効果が不十分な場合も多く、外科的手術や炭酸ガスレーザーによる焼灼なども行われる¹²⁾。さらに漢方薬ヨクイニン (ハトムギ子実熱水抽出物) 内服、活性ビタミンD₃外用、

受理日: 2020年2月25日

* 〒920-8640 石川県金沢市宝町13-1 Tel: 076-265-2147 Fax: 076-234-4247 E-mail: pcam@med.kanazawa-u.ac.jp

Fig. 1 Right plantar wart (8 years of age; female)

CRD intake ; 2.2g/day for 3 months

a: before intake b: 6 weeks later c: 8 weeks later d: 10 weeks later e: 6 months later

※ CRD: Coix-seed Reactive Derivatives

モノクロロ酢酸外用, グルタルアルデヒド外用, プレオマイシン局所注射なども行われるが¹²⁾, 苦慮する例も少ない。

我々が最初に報告した難治性足底疣贅患者は, 上記の各種治療法に抵抗性であり, 唯一 CRD が優れた抗疣贅作用を示した例であった¹¹⁾。CRD 摂取 2 ヶ月後では, 結節の一部には縮小傾向がみられたものの全体的には病変に顕著な変化は認められなかったが, 摂取 3 ヶ月後になると, 結節は著明に縮小し, 一部剥離が認められ, 4 ヶ月後に結節はすべて消失した¹¹⁾。

今回の Case 1 は子供であったためか, 反応が大変よく, 摂取 10 週目に結節は自然脱落した。しかし, Case 2 は, やはり初回報告例¹¹⁾と同じく, 摂取 2 ヶ月目まではほとんど変化がなく, 治癒には 4 ヶ月を要した。以上, 今回の

2 症例は初発からの経過が長く, かつ他の治療法は全く行っていなかったため, CRD 摂取が極めて有効だった例と考えた。今後, さらに足底疣贅の症例を集積し, CRD の有用性を検証していく予定である。

助成元

なし

利益相反

本試験に用いたハトムギ全粒熟水抽出エキス CRD は著者鈴木信孝らが設立した大学発ベンチャー企業 (株) CRD の研究開発食品である。

Fig. 2 Left plantar wart (26 years of age; female)

CRD intake ; 4.4g/day for 4 months

a: before intake b: 1 month later c: 2 months later d: 3 months later e: 4 months later

※ CRD: Coix-seed Reactive Derivatives

参考文献

- 1) Hayashi H, Ohta Y, Arai T, et al. Acute oral Toxicity test of hot water extract of *Coix lacryma-jobi* L. var. *mayuen* Stapf in rats. JJCAM. 2009;6(2):105-110.
- 2) Hayashi H, Arai T, Strong JM, et al. 28-day repeated dose oral toxicity test of *Coix lacryma-jobi* L. var. *mayuen* Stapf in rats. JJCAM. 2009;6(3):131-135.
- 3) 林浩孝, 石橋範人, 太田真弓ら. ハトムギ熱水抽出物の変異原性試験. 日本補完代替医療学会誌. 2009;6(3):157-162.
- 4) 鈴木信孝. ハトムギの食品としての機能性と有用性. 特産種苗. 2009;3:20-24.
- 5) 鈴木信孝. ハトムギと健康体質. FOOD STYLE 21. 2014; 18(6):57-61.
- 6) 鈴木信孝, 川島拓也, 許鳳浩ら. Coix-seed Reactive Derivatives (CRD) の皮膚色素沈着に与える影響に関する研究. 日本補完代替医療学会誌. 2018;15(2):85-90.
- 7) 鈴木信孝, 許鳳浩. ハトムギ全粒熱水抽出エキス:事例研究.

日本補完代替医療学会誌. 2018;15(2):127-132.

- 8) 鈴木信孝, 杉本勇人, 橋本慎太郎ら. Coix-seed Reactive Derivatives (CRD) 摂取が光老化皮膚の改善に有用であった事例報告. 日本補完代替医療学会誌. 2019;16(1):53-56.
- 9) 鈴木信孝, 橋本慎太郎, 許鳳浩ら. Coix-seed Reactive Derivatives (CRD) 摂取が難治性貨幣状湿疹の改善に有用であった事例報告. 日本補完代替医療学会誌. 2019;16(1):61-65.
- 10) 鈴木信孝, 許鳳浩, 上馬場和夫ら. ハトムギ全粒熱水抽出エキス (Coix-seed Reactive Derivatives:CRD) 摂取が有用であった尋常性痤瘡例:症例集積研究. 日本補完代替医療学会誌. 2019;16(2):119-126.
- 11) 鈴木信孝, 川島拓也, 許鳳浩ら. Coix-seed Reactive Derivatives (CRD) とビタミン剤の併用療法により根治した難治性疣贅・コンジローマ症例. 日本補完代替医療学会誌. 2018;15(2):133-139.
- 12) 清水宏. 新しい皮膚科学. 第3版. 東京. 中山書店. 2018:495-496.

ABSTRACT

Two Cases of Plantar Wart Successfully Cured by Intake of Coix-seed Reactive Derivatives (CRD)

Nobutaka SUZUKI¹, Hoko KYO^{1,2}, Kazuo UEBABA², Shintaro HASHIMOTO³

¹ *Department of Complementary and Alternative Medicine Clinical Research and Development,
Kanazawa University Graduate School of Medical Science*

² *Urata Clinic, Hospy Medical Association*

³ *Daimyomachi skin Clinic*

To clarify the functions of Coix-seed Reactive Derivatives(CRD), we observed 2 cases of plantar wart (case 1. 8 years of age, female/ case 2. 26 years of age, female) successfully cured by intake of CRD for several months. Although CRD intake seemed to be effective in these cases, further studies are needed to define the optimal dose and duration.

Key words: *Coix lacryma-jobi* L. var. *ma-yuen* Stapf, Coix-seed Reactive Derivatives (CRD), plantar wart, case report